

教育委員会の事務の点検及び  
評価結果報告書（令和5年度分）

令和6年12月

魚津市教育委員会

## 目 次

教育委員会の事務の点検及び評価について……………	1
--------------------------	---

令和5年度事業に対する学識経験者からの主な意見と取組状況……………	3
-----------------------------------	---

### 【資料】

#### 令和5年度事務事業説明書

教育総務課……………	1
教育センター……………	6
給食センター……………	9
生涯学習・スポーツ課……………	12
図書館……………	23
埋没林博物館……………	25
水族博物館……………	28
地域協働課……………	33
こども課……………	35

#### 令和5年度各決算に係る主要な施策の成果報告書

施策No.13 学校教育の充実……………	1
施策No.14 生涯学習の推進……………	7
施策No.15 文化芸術・スポーツの振興……………	12
施策No.21 いきいきとしたライフスタイルの実現……………	16

#### 令和5年度 決算の状況

# 教育委員会の事務の点検及び評価について

## 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

このことから、魚津市教育委員会では、効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価として施策評価を実施し、その結果について報告・公表するものです。

## 2 点検・評価の対象

令和5年度に教育委員会が実施した施策

## 3 点検・評価の結果及び学識経験者の知見の活用

教育委員会では、令和5年度主要施策である次の4施策について運営状況、事務事業の執行状況について自己点検及び評価を行いました。また、学識経験を有する下記の者から、教育委員会の自己点検に対する意見を聞き、本書に記載する。

施策名	学識経験者	区分等
①学校教育の充実	上田 靖 荒井 隆澄	元小学校長 市P連親学びスーパーバイザー
②生涯教育の推進	博物館協議会 スポーツ団体	委員名簿別記
③文化芸術・スポーツの振興		
④いきいきとしたライフスタイルの実現		

## 4 議会への報告及び公表

点検及び評価に関する結果報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、市のホームページに掲載し公表します。

・魚津市博物館協議会委員名簿

氏 名	備考
竹内 章	富山大学名誉教授 立山黒部ジオパーク協会代表代行
吉井 亮一	元富山県立山博物館副主幹（学芸員）
本元 義明	魚津歴史同好会会長
上野 恭子	富山県文化財保護指導委員
濱住 博之	魚津漁業協同組合長
山崎 裕治	富山大学大学院理工学研究部准教授
森田 美幸	魚津市立小学校長会長

・スポーツ団体名簿

団体名	代表者名
公益財団法人魚津市スポーツ協会	事務局長 松本 裕造
魚津市スポーツ推進委員協議会	会長 宮口 隆志
魚津市小学校体育連盟	会長 入井 孝幸
魚津市中学校体育連盟	会長 鹿熊 康成

## 令和5年度事業に対する学識経験者からの主な意見と取組状況

### ○ 学校教育の充実

#### ◇ 確かな学力を育む教育の推進

学識経験者意見	取組状況
<p>学習の達成状況は、指標とする県の学力調査との比較において、小学校は前年度を下回った。小学校での学習は中学校での学習につながる基礎の学力となる。基礎の学力を安定的に習得させることがその先の学力習得・達成につながると考える。中学校は、目標値を上回ってはいるが、実際は維持している状態で向上しているとは言えない。結果に一喜一憂することなく、今後も「学力向上プラン研究事業」や「小中学校教育研究事業」等の取組を中心に、他県の実践的で確かな指導力をもつ教員との交流等、授業改善に向けた教員研修を工夫しながら、教員としての高い専門性や指導力の向上を図ることが求められる。また、中学校における放課後学習サポートの継続等、児童生徒の実態に応じた地道な取組、実践が望まれる。</p>	<p>各校で学力調査の結果を分析し、校内研修を通して、授業改善に取り組むとともに、「魚津っ子の学び向上委員会」が中心となって、研修を進めています。児童生徒が主体的に学び、資質・能力を確実に身に付けていくことができるよう、実効性のある取組を推進してまいります。</p> <p>今後も「学力向上プラン研究事業」や「小中学校教育研究事業」等の取組を継続するとともに、市内学校が当面する課題に応じて、小中が連携し研究したり、他県との交流研修を通して優れた実践を学んだりするなど、教員の資質向上や授業改善につながる取組を推進していきます。</p>
<p>特別な支援を必要とする児童生徒や不登校の児童生徒が年々増えてきており、その対応や支援が今後も重要と考える。特別支援スタディメイトや学習支援員、また、専科教員の配置や英語教育におけるALT等、各学校の実態に応じた配置の継続や拡充に努めてほしい。</p>	<p>6年度においては、特別支援スタディメイト、小学校専科教員がともに1名増加しました。また、よつば小学校において、県内小学校で初めて配置されたカウンセリング指導員が1名配置されました。今後も、各学校の実態に応じて配置の継続や拡充に努めていきます。</p>
<p>プログラミング教育の推進に向け、「紅ズワイガニロボコン魚津大会」等が実施された。今後も学習成果を実感できる機会を多く創るとともに、多くの児童生徒の興味関心が掘り起こされるような事業の展開に期待したい。</p> <p>また、魚津市内には工業系の高校や能開大等が存在することから、連携した事業の開催なども試みるのもよいのではないかと。</p>	<p>各学校においては、教科の学習の機会等を捉え、プログラミング教育の推進を図っています。また、小学校のプログラミングクラブでロボコン大会に向けた活動を行ったり、希望者を対象にプログラミング教室を実施したりするなど、興味関心をもつ機会としています。</p> <p>また、6年度のプログラミング教室では工業高校生が講師を務めました。事業連携のきっかけとして、今後の取組について研究してまいります。</p>

◇ 豊かな心を育む教育の推進

学識経験者意見	取組状況
<p>不登校児童生徒の割合は、小中学校ともに年々増加し、5年度においても指標の目標値を大きく上回る結果となった。「この増加傾向は全国的なもの」と捉えているのであれば残念に思う。危機感が感じられない。本市における状況を詳細に分析し、適切に対応することが求められる。小学校低学年の不登校増加が懸念されるが、児童の居場所確保とともに学びの多様化の対応に努めていただきたい。</p> <p>これまで、教育支援センター「すまいる」が、不登校だけでなく特別な支援を要する児童生徒の自立支援に効果を上げており、5年度に市のスクールカウンセラーが新たに配置されたことで、より充実した支援がなされることとなった。さらに、今後、校内教育支援センターが設置されることにより、児童生徒一人一人のニーズに応じた学びが保障されることを願う。</p>	<p>不登校児童生徒の増加については、全国的な状況ではあるものの、本市の増加は顕著であることから、危機感をもって取り組んでまいります。不登校児童生徒については、一人一人をしっかりと見つけ、登校状況や家庭の実態等に応じた適切な支援ができるよう努めてまいります。</p> <p>6年度、「魚津っ子元気プラン」を設定し、誰一人取り残さない学びと居場所・元気の保障を目指して取り組んでいます。特に、全小学校に設置した「校内すまいる」では、昨年度長期間にわたって欠席した児童や、学校や関係機関と関わりが希薄な家庭へ利用を呼びかけ、対象児童の約67%が利用するなど、効果がみられています。不登校児童生徒の対応は重要課題であり、個に応じた対応の強化のためにも指導員の増員等を強く要望していきたくと考えております。</p>
<p>ふるさと魚津に愛着をもち、将来にわたりふるさとを思い支えていく人材の育成を目指した「魚津市ふるさとキャリア教育スタンダードプラン」に基づくふるさと発見バス事業や地場産業体験事業、キャリア教育講演会等の成果が表れるのはまだまだ先のことであろうが、何らかの形で検証をしていく必要があると思われる。</p>	<p>ふるさとキャリア教育では、ふるさとの基盤の上に、自らの進路を描くことができるよう取組を推進してまいります。そのためには、地域社会と連携したカリキュラムの作成が大切であると捉えております。コミュニティ・スクールを活用した取組や地元企業等との連携等、よりよい方策について研究していきたくと考えております。</p> <p>今後、総合教育会議で、ふるさとキャリア教育のあり方について協議していきます。</p>
<p>市内107事業所の協力を得て実施された「社会に学ぶ14歳の挑戦事業」は、生徒が勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、勤労観・職業観の形成や進路選択決定等に資する重要な教育活動である。生徒の活動を受け入れる事業所の拡充</p>	<p>「社会に学ぶ14歳の挑戦事業」は、市内の事業所の協力も得ながら、生徒のキャリア形成に寄与する意義ある活動であると考えています。前述のふるさとキャリア教育との連携を図りながら、引き</p>

<p>や連絡調整等において苦慮することもあるだろうが、今後も事業の継続、充実に努めてほしい。</p>	<p>続き、事業の継続、確保に努め、地元の事業所等の協力を得ながら拡充を進めていきたいと考えております。</p>
<p>学校司書の配置継続によって図書の本数の整備や読書環境の充実に努められ、一定の成果を上げてきた。しかし、5年度は児童生徒一人当たりの1か月の読書冊数が元年度実績値まで落ち込んでいる。その理由の解析を望む。</p> <p>児童生徒の読書環境の充実に努め、学校図書館の蔵書情報の電子化が実施されたことは時代に沿った取組である。今後も読書意欲向上を図った取組や本に親しむ雰囲気醸成を図るような取組等の工夫に期待したい。</p>	<p>5年度は、学校図書館の蔵書情報の電子化のための閉架期間があったことの影響が考えられます。</p> <p>6年度は、電子化した学校図書館の蔵書情報を利用し、児童生徒がタブレット端末等を使って蔵書を検索することができるようになりました。そのことを活用し、本に親しむ態度の育成につながるよう努めます。また、清流小学校が「令和6年度子供の読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰」を受賞したこと、受賞校の効果的な取組を学校間で共有し、児童生徒の読書習慣の形成に取り組んでまいります。</p>

◇ 健やかな体を育む教育の推進

学識経験者意見	取組状況
<p>学校給食の残食率が年々増加しており、食べ物を無駄にせず、また、児童生徒が食に対する正しい知識を身に付け、食を通して自らが自己管理できるように、計画的な食育の推進が今後も望まれる。</p>	<p>新たに策定した「第3期魚津市食育推進計画」に基づき、より計画的に食育を推進してまいります。また、栄養教諭等を中心とした各校への給食訪問での食育指導など関係機関と連携して食育の推進に引き続き努めてまいります。</p>
<p>県内の他市町村において未実施である学校給食費の公会計化について、本市ではその整備が進められており、学校の事務負担の軽減に向け大きな効果が見込まれる。今後は、公会計化における課題を整理し、より簡便で透明なシステムが構築されることを期待する。</p>	<p>給食の公会計化により、学校の事務負担の軽減を図っています。初年度の課題として、不登校児童生徒への給食の提供についての学校との調整や、給食費が未納となった家庭との連絡等が挙げられます。学校と連携を取りながらよりよい対応について検証してまいります。</p>

◇ 教育環境の整備・充実

学識経験者意見	取組状況
<p>GIGA スクール構想により児童生徒一人一台のタブレット端末や一教室一台の電子黒板等、学習</p>	<p>本市では、教員のICT機器の活用率は高いものの、一方で児童生徒自身がタ</p>

<p>環境が整備され、ICT 機器の活用率も高くなった。ただ、使用頻度が上がっても学びの目的に応じた活用がされなければ意味がなく、一人一人の情報リテラシーを高めるとともに主体的・対話的な深い学びにつなげる実践に努めることが、今後とも大切である。</p> <p>また、タブレット端末の更新時期が近付いていることから、今後も児童生徒の負担ではなく、公費で負担し貸与することができるよう事業が計画されることを望む。</p>	<p>タブレット端末を学習で日常的に活用することに課題がみられます。市情報研究会等において、ICT を効果的に活用した学びについて理解を深め、具体的な取組を各校で推進してまいります。また、GIGA スクールサポーターの学校巡回の継続、6年度より相談窓口としてヘルプデスクを設置したこと等により、機器の不具合や教職員の質問事項に対応しております。</p> <p>タブレット端末の更新については、国の補助金を活用して、7年度中に行う予定にしております。</p>
<p>「魚津市小中学校通学安全プラン」に基づき、対応・対策が講じられているが、命に直接結びつく事業であるため、指摘・要望の挙がった箇所の安全対策については今後も早期対応に努めてほしい。</p>	<p>関係機関の協力を得て、通学路点検を通じて危険個所の早期対応に努めています。また、潜在的な危険個所の発見にも注力し、道路管理者等に働きかけてまいります。</p>
<p>家庭の経済的理由によらず等しく教育を受けることができるよう、就学援助費の支給や新入学生用品費の入学前支給など、小中学校就学援助事業における適切・適正な支援の継続が望まれる。</p>	<p>学校や市福祉部局等の担当者と連携し、支援が必要な家庭には適切なタイミングで適正な支援を実施していきたいと考えております。</p>
<p>児童生徒の熱中症対策として小中学校教室の冷房化が進められ、冷房化率が普通教室 100%、特別教室 93.1%と高く、学習に集中して取り組む環境が整えられてきた。しかし、体育館における冷房化は進まず、猛暑の際には活動が制限される場合がある。また、災害時の避難場所となることから、今後の検討が望まれる。</p>	<p>体育館における冷房化については、様々な課題について調査研究を進め、体育館の長寿命化や改修工事に併せ、断熱性を確保した上での空調設置を検討し、教育環境改善に努めてまいりたいと考えております。</p>

## ○ 生涯学習の推進

### ◇ 学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上

学識経験者意見	取組状況
<p>・図書館の業務となるかもしれないが、近現代史の映像資料の発掘を手がけてみてはどうか。今後戦前や明治時代以降の写真などの収集も継続して行ってもらえればと思う。</p>	<p>魚津市史を作成する際、市民から多くの写真の提供をいただいた。特に、魚津大火の写真は、そこからの復興の変遷が分かるもので、大変重要と考えている。魚津大火の提供資料は、書籍刊行を行っており、今後も歴史資料の収集保存に努めていきます。</p>

### ◇ ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用

学識経験者意見	取組状況
<p>・松倉城跡の国史跡指定を目指す動きと関連して、子ども向けの城跡ツアーなど次世代へつなぐような動きが必要ではないか。</p> <p>・松倉城の関係で、城跡や歴史といったテーマに市民からの関心が高まっている。歴博や、埋没林でも魚津の山城のPRをシアターなどで紹介するなど関連する展示を行ってもよいと思う。</p>	<p>松倉城跡や天神山城跡の探訪ツアーを、毎年実施しており、令和5年度は春と秋の2回開催した。子供向けに特化している訳ではないが、親子での参加もある。国指定の機運醸成のため、博物館での展示等も含め、市民への周知を図る事業等を検討していきたいと思います。</p>
<p>郷土の歴史への関心を高めるため、発掘作業の手伝いや縄文体験などが出来たらよいのではないか。</p>	<p>発掘作業については、市民から興味・要望の声を聞く機会がありますが、遺跡は、学術的資料であり、安易に掘り起こしたりすることはできない。工事等で遺跡の調査を実施する際には、地元の小学生等に見学に来てもらったこともあり、発掘調査のタイミングと、市民からのニーズを見極めながら、検討していきたいと思います。</p>
<p>分布調査に小中学生に参加してもらい、遺跡の勉強、体験をしてもらうこともよいのではないか。</p>	<p>遺跡は、掘らなくても楽しむことができるもので、現在でも土器や石器などの遺物を見つけることができる遺跡もあります。遺物がどこからきて、どのように作られたのかなど、発展的に考えることもできるので、そのような遺跡の探訪ツアーの実施なども検討していきたいと思います。</p>

◇ 博物館の充実

学識経験者意見	取組状況
<p>物価や、光熱水費等が高騰し、博物館などの公共施設の運営は大変だと思うが、運営における、入館料に関する考え方を聞きたい。</p>	<p>市の財政健全化のため、博物館に限らず、市内の公共施設において、令和2年度から値上げを行っています。博物館の入館料については、なるべく多くの人に来てもらえるよう、可能な限り安く設定しつつ、収支のバランスを見極めております。入館料については、教育委員会だけで決められる問題ではないのですが、定期的な見直しは必要と考えています。今後も魚津市、富山県に興味を持ってもらえるように博物館の魅力を高めていきたいと思っております。</p>
<p>各博物館や図書館等の機関において、その館のルーツとなる写真など様々な目的で集めた資料があると思うが、魚津市としても原資料を大切にしたい、デジタルデータ、ネットでの閲覧など各館で共有して、連携の材料としてもらえればよいと思う。</p>	<p>博物館の収蔵品などの現物資料の重要性は十分に認識しておりますので、引き続き資料の保管や活用を図っていくとともに、資料の利活用の面からもデジタル化も実施してまいります。</p>

## ○ 芸術文化・スポーツの振興

### ◇ 芸術文化活動の推進

学識経験者意見	取組状況
<p>音楽文化の底上げを図るため、市民が気軽に音楽を楽しむことができる機会を増やす必要がある。</p>	<p>音楽事業については、新川文化ホールでは音楽イベント・コンサート、中学校合唱祭、新川学びの森天神山交流館では、学びの森音楽祭、とやま室内楽フェスティバルや練習場所の提供など、日常で音楽に親しむ環境を提供しています。</p> <p>今後もより充実したものになるよう予算措置も含めて支援するとともに、市民への広報に努めたいと考えています。</p>
<p>子どもの頃から芸術に触れることにより豊かな感性が育まれる。舞台芸術鑑賞会は非常に有意義な事業である。</p>	<p>舞台芸術鑑賞会については、劇団四季ミュージカル、文化庁補助事業のバレエ公演など、児童生徒に本物の芸術に触れ、間近で迫力を感じてもらう機会として20年以上にわたり継続実施しております。</p> <p>次年度以降も毎年実施できるよう引き続き予算措置等を行います。</p>

### ◇ スポーツ活動の推進

学識経験者意見	取組状況
<p>中学校の部活動では、生徒数の減少により、単独校によるチーム編成が困難な状況が既に生じてきているため、普段の活動や大会への参加が十分になされないこともあり、また、教員の多くは、競技経験や指導経験のない部活動の顧問となっているのが現状である中、今年度から、13競技中8競技が地域クラブとしてスタートし、中学生の活動をご指導、ご支援いただいております。加入した中学生は、地域クラブの指導者から質の高い技術指導を受け、大きな成果をあげている。また、地域クラブ8競技の担当教員の負担感も少しずつ軽減されてきている。今後、他の5競技についても、競技団体等と連携しながら部活動の地域移行を進めていただきたい。</p>	<p>残る5競技の中には、令和7年度からの地域移行開始に向けて準備を進めていただいている競技もあります。残りの競技についても、推進協議会において課題整理を進め、地域移行を推進できるよう取り組んでまいります。</p>

<p>中学校部活動の地域移行については、関係諸団体との連携を図って進めているところであり、今後も移行を進めていただきたい。</p>	<p>令和6年度から市主体による地域移行に取り組み、全13競技中8競技が移行しています。残る5競技の中には、令和7年度からの地域移行開始に向けて準備を進めていただいている競技もあります。残りの競技についても、推進協議会を活用して課題整理を進め、地域移行を推進できるよう取り組んでまいります。</p>
<p>今後もスポーツ競技への参加者の底辺拡大や競技力向上に向けて、小学生、中学生、高校生を対象とした体験会やプロ選手によるスポーツ教室（技術指導）を継続して推進していくことが大切である。また、選手への憧れや体験から、活動意欲の向上や競技継続意思の強固、競技に触れる機会の確保等が期待できると思われる。</p>	<p>現在、パナソニックスポーツ株式会社との連携協定により、バレーボール、ラグビー、野球の3競技で、児童生徒等にトップレベルの指導の場を提供しており、今後も継続していきたいと考えています。</p>
<p>アスリートとの交流はスポーツへの興味関心の向上の機会として今後も継続していただきたい。スポーツを通じたキャリア教育の充実にもなっており、児童・生徒にとって楽しく自分事として考える契機になっていると思われる。</p>	<p>今後も児童生徒が様々なスポーツ体験をすることができる機会を作るよう努めます。</p>
<p>スポーツ振興は、全ての市民が気軽にスポーツが出来る環境を整備し、スポーツを実感できる社会を実現するものとも言われており、その中にはスポーツを「する」「みる」「教える」等の様々なスタイルがある。スポーツに携わる者が連携・協働する事が重要であり、市民が何を求めているかを知るアンケート等（データ）も必要ではないか。</p>	<p>従前は、市民意識調査の実施を通して、市民のスポーツとの関わりを調査していましたが、現在は調査自体を実施していません。市民が、スポーツに取り組む環境として、どのようなことを考えているか、又は、望んでいるかのアンケートを取ることを検討してみます。</p>

○ いきいきとしたライフスタイルの実現

◇ 生涯スポーツ・レクリエーションの推進

学識経験者意見	取組状況
<p>室内温水プール建替推進事業については、市民の皆さんからも期待の声が聞かれる。児童・生徒をはじめ市民の皆さんが水に親しむ機会を大切にしたい。</p>	<p>新しい室内温水プールについては、令和7年度の供用開始に向けて工事を進めているところです。また、供用開始後の有効活用や企画運営については、今後決定する施設管理者とともに取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>新型コロナの影響か、スポーツ事業に対する地区格差が広がっているように思います。行政において、スポーツの必要性をしっかりと説明していただき、活気あふれる魚津市にしてほしい。</p>	<p>スポーツ協会、地区体育振興会、スポーツ推進委員協議会等の関係団体と連携して、生涯スポーツ・レクリエーションの普及促進に取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>高齢者のスポーツ活動について、歩いて行ける身近な場としてコミュニティセンターの活用が重要になるのではないかと。高齢者に参加いただくためにも関係団体と協議しながら参加しやすい環境づくりが必要だと考える。</p>	<p>市として生涯スポーツ・レクリエーションの推進に取り組んでおり、現在も、高齢者のスポーツ活動については、老人クラブや高齢者学級などを通して、活動を支援しているところですが、更なる推進を目指して、最も身近で安心して利用できるコミュニティセンターの活用を検討してまいります。</p>

令和5年度 決算の状況(水族館特別会計含む)

	R4決算額(円)	R5決算額(円)	増減額	対前年比	
確かな学力を育む教育の推進	87,346,415	94,991,373	7,644,958	108.8%	増 英語教育推進事業 小学校教科用図書給付事業 減 小学校教育研究事業 プログラミング教育推進事業
豊かな心を育む教育の推進	16,309,020	24,778,015	8,468,995	151.9%	増 学校司書配置事業 適応指導教室運営事業
健やかな体を育む教育の推進	207,891,429	190,863,129	△ 17,028,300	91.8%	増 食育推進事業 プール授業外部委託モデル事業 減 学校給食運営事業
教育環境の整備・充実	460,151,025	478,998,024	18,846,999	104.1%	増 小学校維持管理事業 中学校維持管理事業 小学校遠距離通学援助事業 減 教育委員会の会議及び委員に関する事務 教育委員会事務局一般管理事業 奨学金貸付事業
学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上	393,725,215	513,655,813	119,930,598	130.5%	増 公民館大規模修繕事業(公民館施設整備事業) 図書館設備更新事業 減 教養・普及事業
ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用	12,340,027	7,792,440	△ 4,547,587	63.1%	増 文化財維持管理事業 文化財保存事業
博物館の充実	381,042,026	457,485,370	76,443,344	120.1%	増 資料収蔵品移設事業 水族館施設整備事業 減 博物館収蔵品等デジタル化事業 水族館博物館事業 埋没林博物館展示事業
芸術文化活動の推進	91,153,495	114,011,614	22,858,119	125.1%	増 交流館活性化事業 新川文化ホール事業 音楽のまちづくり推進事業 減 芸術文化振興事業
スポーツ活動の推進	234,752,976	231,251,463	△ 3,501,513	98.5%	減 スポーツコミッション事業体
生涯スポーツ・レクリエーションの推進	11,442,701	260,967,947	249,525,246	2280.6%	増 室内温水プール建替推進事業
	1,896,154,329	2,374,795,188	478,640,859		